

令和6年5月21日

ご近隣の皆様

〒153-0042

東京都目黒区青葉台1-30-11

土屋ビルディング7階

中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合

資料掲載のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日開催いたしました「(仮称)中目黒駅前北地区市街地再開発事業第一回説明会」では、多くの方にご来場いただきましたが、会場の定員上の都合により、ご入場いただけなかった方がいらっしゃいました。ご来場いただいたにもかかわらず、会場にお入りいただけなかったことを深くお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、今後はより適切な会場設営と運営に努めてまいります。ご来場いただいた皆様には多大なるご迷惑をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

つきましては、説明会で配布した資料をホームページへ掲載させていただきますので、ご意見・ご質問等ございましたら、以下の連絡先までお問い合わせくださいようお願い申し上げます。

- ・電話：03-6451-2272
- ・メールアドレス：ekikita@gaea.ocn.ne.jp

今後とも当事業へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

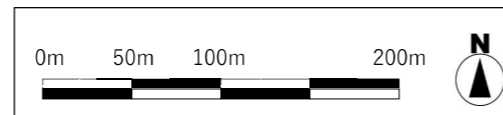
敬具

1. 区域図



2. 検討の主な経緯

- 平成29年度
第1回街づくり研究会開催
- 令和2年度
中目黒駅前北地区
市街地再開発準備組合設立
- 令和5年度
第1回～第34回理事会開催
(令和6年4月現在)



3. 地区の整備課題

歩行空間の課題



- 地区周辺は車両や歩行者の通行が多い一方で、歩車分離がされていない道路が存在するなど、歩行者の安全性や回遊性が確保されていない。

環境・景観の課題



- 地区内には公園、広場がなく、目黒川沿いの桜並木等と連続した、緑や潤いある広場等の豊かな都市環境の整備が求められる。

防災上の課題



- 駅前において、桜開花時期の混雑時や災害時に一時退避が可能なオープンスペースの不足が課題となっている。

(参考) 航空写真



4. 整備方針

人中心のウォーカブルなまちづくりに向けた「ナカメの回遊促進拠点」を形成

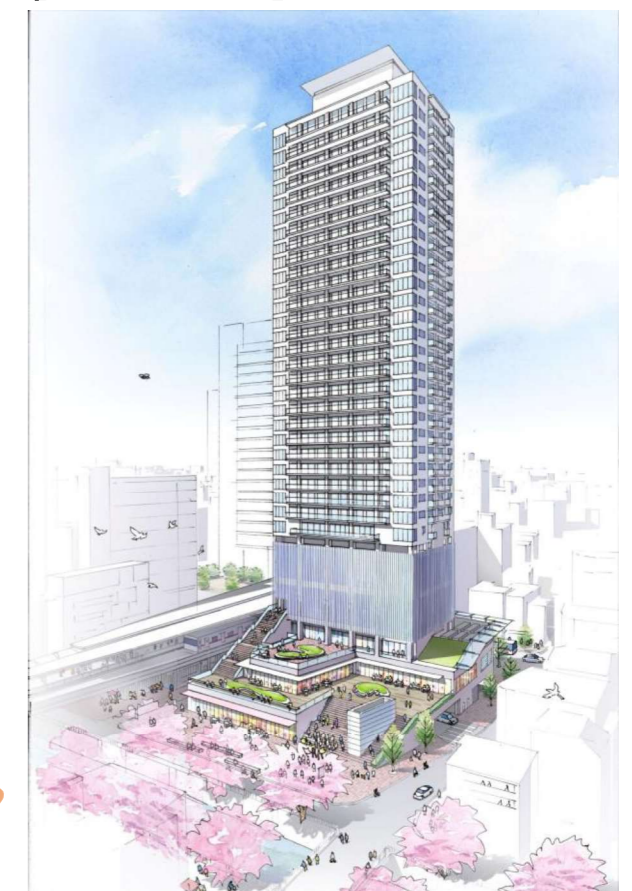
【整備の視点】

- ウォーカブルネットワークの拠点として滞留・回遊を生み出す、中目黒の新たな拠点を形成
- 喫緊の課題である桜開花期間中のオーバーツーリズム対策等、駅周辺の課題への対応

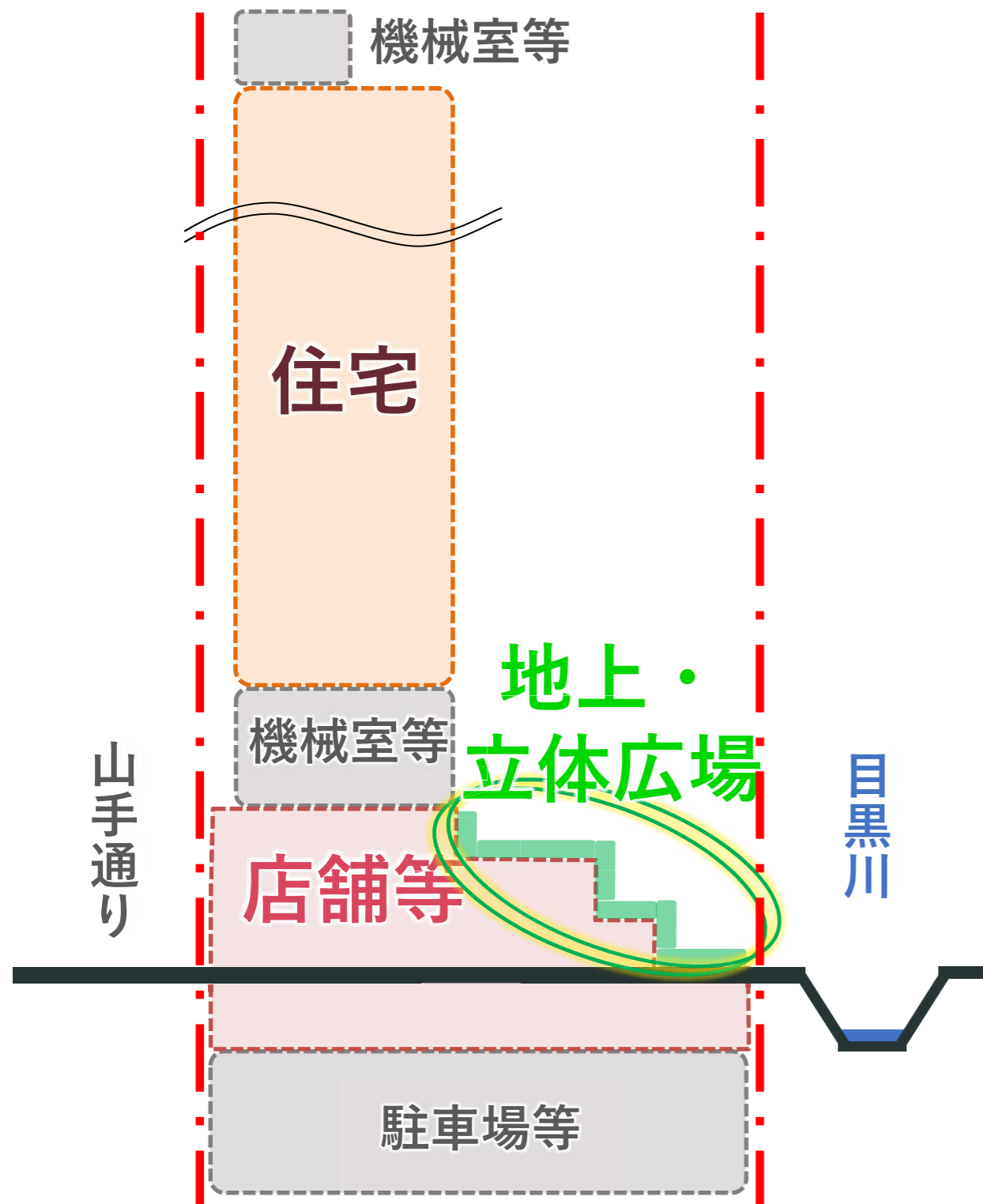
【整備イメージ図】



【イメージパース】



5. 断面イメージ (南北方向)

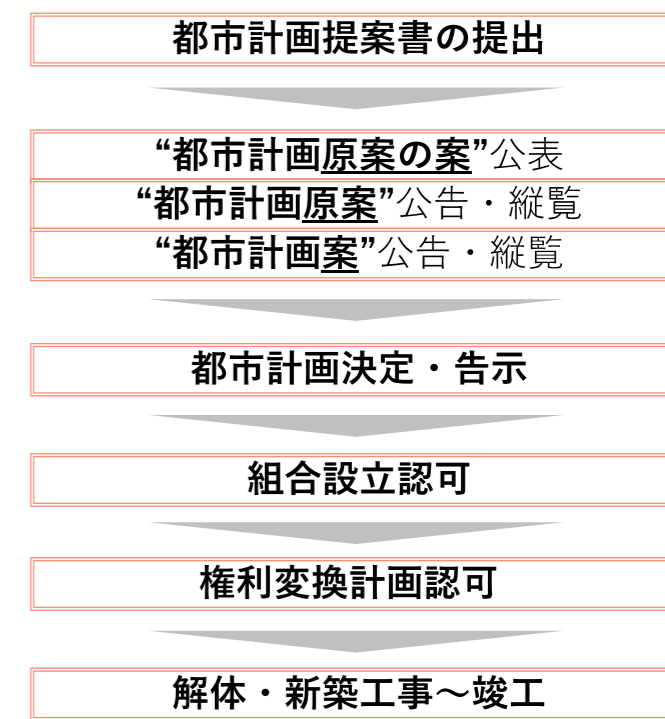


※計画概要(案)は、都市計画決定に向けての案であり、今後、東京都や目黒区等の関係機関や地権者の皆様と協議を行い、その結果を受けて修正を繰り返し行いますので、あくまで2024年5月時点の案としてご理解下さい。

6. 整備の概要

項目	地区の概要
計画手法	高度利用地区・地区計画
事業手法	第一種市街地再開発事業
敷地面積	約3,660㎡
建築面積 (建蔽率)	約2,560㎡ (約70%)
建築基準法の高さ	約160m
容積対象面積	約28,000㎡
延べ床面積	約44,000㎡

7. 今後の想定スケジュール



8. 整備のイメージ (目黒川沿い広場のイメージ)



問い合わせ先

< 中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合 事務局 (担当 林和隆・吉岡英一) >

Mail: ekikita@gaea.ocn.ne.jp

電話: 03-6451-2272 (平日 10:00~17:00) FAX: 03-6451-2273

住所: 〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-30-11土屋ビルディング7階